

V 日高振興局

1. みなべ町農業士会が西牟婁地方農業士会連絡協議会と交流・研修会を開催

みなべ町農業士会（大山勇会長、会員数 56 名）は西牟婁地方農業士会連絡協議会（谷口文治会長、会員 159 名）と、3 月 1 日に田辺市で情報交換を目的に交流会を開催した。みなべ町農業士会会員 19 名、西牟婁地方農業士会連絡協議会会員 23 名が参加した。

それに先立ち、みなべ町農業士会は、田辺市上秋津にある「農業法人株式会社きてら」と「農業法人株式会社秋津野：秋津野ガルテン」を訪れ、農業を基軸に行われてきた地域づくりの取り組みについて研修会を開催した。

今回の研修内容は、指導農業士で両農業法人の立ち上げから関わっておられる木村則夫氏から、秋津野地区農業の歴史、地域資源を活かしたコミュニティビジネス挑戦の経緯、現在取り組む、農と地域資源を活かした都市農村交流について説明を受けた。

本交流会は両会長の熱心な働きかけによって実現した。みなべ町と西牟婁地方は隣接しているが、これまで農業士会として交流したり、隣接の地域を研修したりすることがほとんどなかったため、交流を進める絶好の機会となった。情報交換の場ではお互いの農業経営の現状や地域づくりの取り組みなどについて活発に意見交換がなされた。



「秋津野ガルテン」で指導農業士の木村則夫氏から説明をうける

2. 日高地方農業士会女性部会が現地研修会を実施

3 月 7 日、日高地方農業士会女性部会（山中紀美子会長）は、日高川町で現地研修会を実施し、会員 12 名が参加した。

最初に、日高川町三百瀬にあるイチゴ栽培園（園主：三原康弘氏）において現地研修を行った。三原氏から、イチゴ栽培の取り組み、施設の概要、病害対策、県オリジナル品種の「まりひめ」などのお話を伺った。

次に、日高川町土生のウスイエンドウ園（園主：指導農業士の中村幸男氏）において、現地研修を行った。中村氏から、ハウス栽培を始めた経過、現在の経営概要、整枝等の栽培管理、選別機等について説明を受けた。

その後、日高川町役場の会議室にて、地元生活研究グループの加工品の試食を行うとともに、会員の交流と情報交換を行った。今回の参加者には、イチゴやウスイエンドウを生産している会員はいなかったが、施設の見学や話しを聞くことで、良い刺激を受けたようであった。



三原氏を囲んでイチゴの説明を聞く



ウスイエンドウのハウス栽培見学



役場会議室にて交流・情報交換

3. 日高地方生活研究グループ連絡協議会がリーダー研修会を実施

3月16日、日高地方生活研究グループ連絡協議会（後藤明子会長）がリーダー研修会として海草郡紀美野町、海南市を訪問し、会員26名が参加した。

紀美野町では、紀美野町中央公民館にて、生石加工グループの寺中萬喜子会長から、年間の活動内容や加工所、加工品制作・販売などのお話をいただき、同グループが作っているお弁当をいただきながら交流会を行った。交流会では、加工所の届出・許可の経緯、加工品やお弁当のレシピ・当番についてなど、積極的な意見交換がなされた。

その後、同グループの会員に教えていただきながら、和菓子づくり体験を行った。和菓子は、イチゴ・キウイ・栗の大福をそれぞれグループに分かれて作り、きれいな3色の大福ができあがった。会員は、こんな簡単に大福が作れるなんて知らなかった、レパートリーが一つ増えて嬉しいと感想を述べていた。

海南市では、3時のかんぶつ屋さんを訪れた。3時のかんぶつ屋さんでは、かんぶつの消費が減少する中、若い人にもかんぶつを食べてほしい、栄養面などかんぶつの良さをもっと知ってほしいとの思いから、かんぶつを使ったスイーツなどを制作・販売している。現地では、同店の野田和歌氏からお店の概要について説明いただき、店内を見学した。会員は、かんぶつの良さを見直し、お菓子づくりにも使ってみたいと感想を述べていた。



寺中会長の講話



和菓子づくり体験の様子



交流が深まった両会員



3時のかんぶつ屋さんを見学

4. 由良町農業士会が現地研修会を実施

3月24日、由良町農業士会（松村章弘会長）が現地研修会として紀の川市の観音山フルーツガーデンを訪問し、会員11名が参加した。

観音山フルーツガーデンは、農業生産法人有限会社柑香園が経営する農園で、様々な品種の果樹を栽培・加工・販売している。当日現地では、代表取締役会長の児玉典男氏に農園の概要についてお話いただいた。児玉会長は、観音山フルーツガーデンは全ての園の樹毎に果実を味見し、おいしいと判定できた樹から先に収穫していることや、農薬を散布する回数を減らしていること、選果機を通さずに出荷していること、加工品にも力を入れていること、商品のほぼ全てをインターネット販売していることなどをお話くださった。また、配送の手配をしている現場も見学させていただいた。

会員からは、個人で販売するようになった経緯やメリット、経営に占める加工品販売の割合、農薬の種類や肥料配合の内容について積極的に質問がなされ、充実した研修会となった。



児玉氏による説明



出荷作業の様子